

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第1回行財政改革推進委員会
開 催 日 時	平成28年9月9日（金）13時30分から15時15分まで
開 催 場 所	吉川市保健センター 集団指導室
出 席 委 員 氏 名	大塚祚保委員、伊藤博章委員、中村喜一委員、
欠 席 委 員 氏 名	なし
担当課職員職氏名	政策室主幹 吉田誠、政策室企画担当副主幹 島村善和 政策室企画担当主事 阿部恵
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員委嘱</li> <li>3 委員・職員紹介     資料1 平成28年度行財政改革推進委員会名簿</li> <li>4 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員長、副委員長の選出について     資料2 行財政改革推進委員会設置要綱</li> <li>(2) 行財政改革推進委員会の進め方について</li> <li>(3) 平成27年度の取組状況について     資料3 第4次よしかわ行財政改革大綱（平成27年度取組状況）</li> </ol> </li> <li>5 その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 次回開催について</li> </ol> </li> <li>6 閉会     すべて公開</li> </ol>
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	次第、資料1～3
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	大塚委員長、伊藤副委員長
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）

<p>1 開 会 島村副主幹</p>	<p>————— 《開 会》 —————</p> <p>ただ今より、平成28年度第1回行財政改革推進委員会を開会する。</p>
	<p>————— 《委 嘱》 —————</p> <p>副市長より委員3名に対して委嘱状の交付。</p>
<p>副市長</p>	<p>————— 《副市長挨拶》 —————</p> <p>多忙な中でお集まりいただき、また、この度は行財政改革推進委員を快くお引き受けいただき、改めて感謝申し上げます。当市では、平成8年度より行財政改革に取り組んでいる。平成27年度からは第4次よしかわ行財政改革大綱に取り組んでおり、総合振興計画の推進にも大きく寄与している。現在は第5次後期基本計画を策定しているところであるが、行政改革が占める割合も多い。今後も引き続き今後も着実に行政改革を進めていくとともに、委員の皆さんからの協力が不可欠であるため、引き続きよろしくお願い申し上げます。</p> <p>————— 《委員紹介》 —————</p> <p>委員会委員3名の紹介。学識経験者から、元流通経済大学教授の大塚委員。次に、前回からの再任の伊藤委員。次に、市民公募からの中村委員。</p> <p>————— 《職員紹介》 —————</p> <p>事務局3名の紹介。政策室主幹の吉田、政策室企画担当副主幹の島村、政策室企画担当主事の阿部。</p>
<p>島村副主幹</p>	<p>————— 《定足数確認(会議の成立)》 —————</p> <p>本日の出席状況は、出席委員3名であり、行財政改革推進委員会設置要綱第6条第2項の規定による定足数である過半数に達しているため、本日の委員会が成立していることを確認した。</p> <p>議事の(1)「委員長、副委員長の選出について」に移る前に、委員長が決定していないため、議事の進行を島村副主幹が暫定的に行う。</p>
<p>島村副主幹</p>	<p>————— 《会議の公開・非公開の決定》 —————</p> <p>本日の会議は全て公開で行う。また、会議録の公開についても、会議録内の発言委員名を全て公開で行う。</p>

	————— 《議事審議》 —————
島村副主幹	<p><b>(1) 委員長、副委員長の選出について</b> 大塚委員が委員長。伊藤委員が副委員長で選出。</p>
大塚委員長	————— 《委員長の挨拶》 —————
	<p>前回から継続して委員長を務めさせていただく。第三者の立場から意見を述べていきたい。よろしく願います。</p>
伊藤副委員長	————— 《副委員長の挨拶》 —————
	<p>市民の一人としての視点から、積極的に取り組んでいきたい。よろしく願います。</p>
島村副主幹	<p>それでは、これよりの議事進行については、行財政改革推進委員会設置要綱第5条第2項の規定により、大塚委員長に議長になって、議事の進行をお願いします。</p>
大塚委員長	<p><b>(2) 行財政改革推進委員会の進め方について</b> それでは、議事(1)について、資料に沿って検討していく。事務局より説明願いたい。</p>
	<p>説明(省略)</p>
大塚委員長	<p>行政運営や大綱の進行管理は政策室の業務になるが、この委員会では何をどう審議し、市の行財政運営にどのように関わっていけばいいのか。</p>
吉田主幹	<p>各項目の進捗状況を説明するので、市職員とはまた違った立場からご意見や助言をいただきたい次第である。委員の皆さんが関心のある項目や、計画通りに進行できていない項目に関しては、過去には担当部署の職員を呼び、この場で直接話を聞くことも事例としてあった。</p>
伊藤副委員長	<p>大綱で示された改革項目の表自体が理解しがたい。具体的な計画が記されておらず、またどのような成果が出たのかも把握できない。事務事業評価シートと同様に、現状ではPDCAサイクルが上手く回っていないのではないかと。この委員会で何かを判断するとしても、現状の資料では不十分である。</p>

中村委員	各柱立ての判断基準をいかに設定するか、何か判断基準はあるか。例えば歳入・歳出など数字で示せれば分かりやすいと思われる。
吉田主幹	現状では、年度ごとに何をするかの大枠のみを定めている。昨年度の進捗状況は担当各課で作成しており、裏付けとなるデータ及び資料の提出は求めているが、詳細は事務事業評価シートで確認することが可能である。
伊藤副委員長	平成27年度の事務事業評価シートはいつ頃ホームページで公開されるのか。また、以前より前年度と同じ内容のシートが多数見受けられる。事務局は気づいたら注意をしてはどうか。
島村副主幹	昨年度の事務事業評価については事務作業が例年より遅れており、9月第3週には公開する。
大塚委員長	ヒアリングを実施する場合、主担当部署として大半を占める政策室から順に実施するか、または行政改革が計画通りに実施できていない部署に対して実施することも考えられる。ただし、政策室が各部署に対して行政改革の進行管理を行い、現場の担当者へのヒアリングも実施しているのであれば、本委員会で同様のヒアリングを実施しても、内容が重複する可能性が高い。ヒアリングの実施には一考の余地があるだろう。まずは政策室でさらに力を入れて、確認していただきたい。
中村委員	進捗状況の管理は、ぜひ政策室で実施していただきたい。本委員会で言うには負担が大きい。まずは私たちが意見をするための十分な材料が必要である。判断材料を事務局が提示し、その内容で十分か否かをこの場で判断してはどうか。
吉田主幹	まずは平成27年度の進捗状況を精査し、今年度上半期を踏まえて各担当部署と調整した上で、次回会議において両者について提示し、ご意見いただけるように努めたい。
伊藤副委員長	事務事業評価シート自体を吟味した方が分かりやすいのではないか。また、年度ごとの成果が分からないと、そのステップが適切であったのか判断をいたしかねる。
吉田主幹	事務事業評価シートと可能な限り擦りあわせて本大綱を策定している。現資料に不足があれば、改良していく。

中村委員	大綱で示されている39の改革項目は固定されているのか。数ある業務の中から改革項目として選ばれ、推進期間中は継続して監査されるということによろしいか。
吉田主幹	その通りである。
中村委員	市民意識調査の結果を資料として提示いただけると分かりやすい。経年変化を確認したく、行政改革結果報告のシートに記入いただきたい。
伊藤副委員長	満足度調査の結果を見る際には、注意する必要がある。「満足」「どちらかといえば満足」という選択肢の場合、「どちらかといえば満足」と回答した方は、やや不満があるからこそそのように回答したのであり、「不満」と捉えるべきである。単に合算すればよいという訳ではない。
中村委員	市民意識調査以外に、行政改革の進捗状況を計るような数値はあるか。
吉田主幹	現状では無い。改革項目では個別の数値目標を組み込んでおらず、数値的な管理はできていない。
中村委員	改革項目の事業に関連したアンケート調査の結果についても、判断材料の一つとして、ぜひ提示いただきたい。アンケート調査の内容や取り方も重要だろう。
大塚委員長	市長が重点的に実施したいと考えている政策や事業は含まれているのか。個人的には、吉川市には対外的PRがさらに必要であると感じているが。
吉田主幹	市長の意を汲んだ上で、大綱の第2版を策定している。また総合戦略においても示されているところである。
中村委員	吉川市には地域的な偏りが見受けられる。地方創生に限らず、行政改革においても地域差が重要である。 各項目の成果を説明いただいた上で、未実施の改革項目については詳細の説明を受け、市民としての意見を述べられればと思う。まずは、どこに目標があり、どういう基準に基づいて実施していくのかなどの課題と今度の方針について追記していただきたい。

大塚委員長	<p>今回提示された資料は一時的なものとして、まずは平成27年度及び28年度上半期の実績について、本委員会で評価できる内容でもって作成いただき、改めて委員同士で意見を出し合っていきたい。</p>
伊藤副委員長	<p><b>(3) 平成27年度の取組状況について</b>  <b>●II-1-⑦「自主防災組織の育成」</b>          自主防災組織の地域的な空白地帯はあるのか。資料提供がなく、判断ができかねる。</p>
大塚委員長	<p><b>●II-2-④「シティプロモーションの推進」</b>  <b>●III-2-⑤「公共施設マネジメントの推進」</b>          平成27年度に方針を策定する予定であったが、未実施となっている。何か理由があるのか。</p>
吉田主幹	<p>シティプロモーションについては、まち・ひと・しごと創生総合戦略や総合振興計画の策定や国の動向が関連しており、タイミングとして動くことができなかった。公共施設マネジメントについては、財政課が今年度実施する固定資産台帳の整備を踏まえて、着手しなかったためである。</p>
伊藤副委員長	<p>昨年度も同様のことを発言しており、改革項目のタイムスケジュールに反映できていない。変更があるなら、大綱を適宜改訂してはいかがか。</p>
中村委員	<p>公共施設マネジメントについて、選任の担当者はいるのか。公共施設のアセットマネジメントは行政改革の観点からみて比重が大きく、優先的に取組むべき事業ではないか。</p>
吉田主幹	<p>専任の担当者はいない。今後は整理された固定資産台帳を基に、個別施設の計画を策定していく。</p>
大塚委員長	<p><b>●III-2-③「窓口業務の外部委託の導入」</b>          どこの窓口業務における外部委託導入を想定しているのか。</p>
吉田主幹	<p>検討中であり、特定はしていない。足立区では一部事業で外部委託を実施しているが、まだ課題もあるようだ。</p>
大塚委員長	<p>行政の主要業務を容易にアウトソーシングしてよいものか疑問もある。また、改革項目内の見込まれる効果で記載されている「安価」という言葉も安直に感じる。</p>

吉田主幹	大規模な自治体では、アウトソーシングで一定の効果があるのかもしれないが、当市の規模でどれだけの効果があるかは、まだ判断しかねる。今後も引き続き検討していく。
中村委員	民間ノウハウを取り入れて、より効果的に運営していくことも重要であるが、全てを入れ替えればよいという訳ではない。おあしすなどの既に指定管理制度を導入した施設において、導入以前と以後でどのような成果があったかを確認し、アウトソーシングの推進において参考にしてはいかかがか。
吉田主幹	<p style="text-align: center;">————— 《そ の 他》 —————</p> <p><b>(1) 次回開催について</b></p> <p>次回会議は年末年始を目途として実施する。年内には資料を送付し、事前質問を受け付けた上で、年明けに委員会を実施し、事前質問に対する回答を示すものとする。</p> <p style="text-align: center;">————— 《閉 会》 —————</p> <p>以上で本日の委員会の内容はすべて終了した。これをもって、平成28年度第1回行財政改革推進委員会を閉会する。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成28年12月26日</p> <p>署名委員 (大塚委員長 自署)      署名委員 (伊藤副委員長 自署)</p>	